

調達要求番号：統-08-0122-014

| 情報本部仕様書 | | | |
|----------------|-------------|---------------|-------------|
| 物品番号 | | 仕様書番号 | |
| 品名 又は 件名 | 船舶識別サービスの利用 | DIH-LT-15102D | |
| | | 大臣承認 | 令和 年 月 日 |
| | | 作成 | 平成28年 2月10日 |
| | | 改正 | 平成 3年 1月28日 |
| | | | 令和 5年 2月13日 |
| | | | 令和 7年 4月 8日 |
| 作成部課名 | 情報本部統合情報部 | | |

1 総則

1.1 適用範囲 この仕様書は、情報本部統合情報部において利用する「船舶識別サービスの利用」に適用する。

1.2 引用文書 この仕様書に引用する文書は、この仕様書に規定する範囲内においてこの仕様書の一部をなすものであり、入札時又は見積書の提出時における最新版とする。なお、引用文書に定める事項がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、この仕様書に定める内容が優先される。

情報本部における立入禁止場所等に関する達（平成20年情報本部達第4号）

情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置の細部事項について（通知） [装プ武第188号（平成31年1月9日）]

2 役務に関する要求

2.1 目的 船舶が発信するAIS情報、船舶情報及び港湾情報を組み合わせ効率的かつ効果的に船舶の動静を把握するとともに船舶を識別することを目的とする。

2.2 安全性 本船舶識別サービスで受信したAIS情報、船舶情報及び港湾情報の（セキュリティ確認を除く。）閲覧ができないようにすること。

3 機能

3.1 船舶動静・要目・リスク査定形態

- インターネットに接続された任意の端末で船舶の動静を把握でき、解析支援情報を閲覧できること。
- 動静把握には、人工衛星に搭載された受信機にて受信したAIS情報（以下「衛星AIS」という。）と地上に設置された受信機にて受信したAIS情報（以下「地上AIS」という。）の両方が利用できること。また、AIS情報の収集範囲は全

地球規模であること。

- c) 解析支援情報には、船舶に関する情報（以下「船舶情報」という。）と港湾に関する情報（以下「港湾情報」という。）が含まれていること。また、解析支援情報の細部は**付表 1 船舶情報・港湾情報一覧**による。

3.2 船舶動静把握

3.2.1 地図表示 衛星A I S，地上A I Sを背景地図上に重畳表示し、船舶の現在位置を把握できること。地図表示は以下の項目を満たすこと。

- a) 全地球分の背景地図を表示できること。
- b) 港湾施設情報を背景地図に重畳表示できること。
- c) 官側が指定した海域を区切る線を背景地図に重畳表示できること。この線の表示・非表示を選択できること。
- d) 表示縮尺に応じて背景地図に適切に表示できること。その際15，000分1の背景地図を表示できること。表示縮尺を拡大した際30ノータカルマイル四方以上の表示が可能なこと。また、ガイドとして表示するスケールはメートル及びキロメートルとノータカルマイルで切り替えができること。
- e) 特定の関心領域においては、表示縮尺を大きくした際地名及び港湾名称等の詳細な情報を表示できること。これらの表示は日本語表示を初期設定とし、英語表示も選択できること。
- f) 表示縮尺に応じて緯線及び経線を切り替え、適切に表示できること。
- g) 衛星A I S/地上A I Sを検索し検索結果を背景地図に重畳表示できること。また、検索した衛星A I S/地上A I Sをダウンロードできること。
- h) 検索条件は IMO，MMSI，船名，コールサインとし、それらを二つ以上入力した場合は OR 検索とすること。検索を行う際は、システムに異常をきたさない限り、システムに保存されているすべての関連データを参照すること。
- i) 衛星A I S/地上A I Sデータは、G U I（シークバー，スライドバー，時間スライダー等）を利用して時間で絞り込めること。
- j) i)で表示した衛星A I S/地上A I Sデータを時系列順で表示し、時間変化が確認できること。

3.2.2 識別項目 衛星A I S及び地上A I Sに含まれる位置座標の位置に船舶を識別できるアイコン（以下「船舶アイコン」という。）を表示できること。識別する項目は以下を基準として複数段階で表示し、必要最小限の情報（IMO番号，MMSI番号等）をポップアップ表示できること。なお、ポップアップは表示及び非表示を切り替えられること。

- a) 船舶種別
- b) 国籍
- c) G T

- d) 全長
- e) 針路
- f) 速力
- g) 船舶アイコンの色を船種毎に任意に変更できること。

3.2.3 衛星AIS及び地上AISの更新頻度は1回/時間以上を基準とし、更新に合わせて船舶アイコンの表示位置を更新できること。なお、指定した船舶アイコンは最新の位置と合わせて過去の位置に表示し、同じ船舶を線で結んだ航跡を表示できること。

航跡の表示は以下の項目を満たすこと。

- a) シンボルを航跡に重畳表示できること。
- b) 時刻（日時）をシンボルに重畳表示できること。
- c) 時刻（日時）表示・非表示の選択ができること。
- d) 任意の時刻（日時）表示・非表示が選択できること。
- e) 表示する時刻（日時）を4時間毎，12時間毎，24時間毎，全ての4つから選択できること。

3.2.4 表示する衛星AIS及び地上AISは，両AISに含まれる属性項目を利用して絞り込みを行えること。利用する属性項目は以下を基準とする。

- a) IMO番号
- b) MMSI番号
- c) 船舶種別
- d) 国籍
- e) 全長・全幅
- f) 仕向地

3.2.5 船舶アイコン近傍にカーソルを合わせる又は船舶アイコンを選択することで，船舶を識別するのに必要なAIS情報に含まれている情報をポップアップ又はリストで表示できること。表示する内容は以下を基準とする。

- a) MMSI番号
- b) IMO番号
- c) 船名
- d) 国籍
- e) GT・DWT
- f) 全長・全幅
- g) 船舶種別
- h) 時刻 (UTC:Universal Time Coordinated)
- i) 針路
- j) 速力

- k) 船首方位
- l) 回頭率
- m) 航海状況
- n) 喫水
- o) 仕向地
- p) E T A

3.2.6 船舶アイコンを選択することで、船舶情報を表示できること。表示する項目は**付表 1 船舶情報・港湾情報一覧**を基準とする。

3.2.7 船舶アイコンを選択することで、指定した船舶の航跡を過去1, 200日（基準）まで遡り表示できること。

3.2.8 更新された衛星A I S及び地上A I Sは空間情報（位置情報と関連付けて管理可能な形式）として蓄積し、過去に蓄積されているA I S情報と合わせて解析に利用できること。A I S情報は以下の頻度を基準とし蓄積する。

- a) 最新の30日分: 1回/時間以上
- b) 過去30日～90日分: 1回/時間
- c) 90日前以降: 1回/日

3.3 船舶情報及び港湾情報の閲覧

3.3.1 解析情報の閲覧 解析支援情報として船舶情報及び港湾情報を閲覧できること。解析支援情報の更新頻度は1回/日以上とし、閲覧出来る項目は**付表 1 船舶情報・港湾情報一覧**の内容を含んでいること。

3.3.2 自動通知サービス 解析情報を活用した解析作業を支援するサービスを利用できること。

3.3.2.1 官側が指定した範囲に特定の船舶が侵入、停滞及び離脱した際に自動で通知（以下「アラート通知」という。）できること。範囲は矩形、円形及び多角形で指定できること。また、対象とする船舶は、以下の情報に基づき官側が指定できること。

- a) MMS I 番号
- b) I M O 番号
- c) 船名
- d) 国籍
- e) G T ・ D W T
- f) 全長・全幅
- g) 針路
- h) 速力
- i) 喫水
- j) 仕向地
- k) 船舶種別

3.3.2.2 官側が解析の対象とする船舶（以下「船舶リスト」という。）をリスト化し、官側が指定する情報に変更があった際にアラート通知されること。その通知は新しいものから降順で表示すること。また、登録できる船舶の数は3,000隻以上であること。

3.4 報告資料作成支援機能の付加

3.4.1 任意の船舶リスト表示 官側で任意の船舶3,000隻を抽出し、**付表2 リスト項目（基準）**の項目による表示及びリスト化（以下「任意のリスト」という。）することができること。この際、任意のリストはCSV形式としてダウンロードすることができること。また、表示要領等の細部は契約後速やかに官側と調整すること。

3.4.2 任意の船舶位置情報等のダウンロード 3.4.1のリスト内信号（位置）が得られた船舶について以下の情報を1回/日、CSV形式としてダウンロードできること。そのデータは新しいものから降順で表示すること。

- a) 船名
- b) 位置情報（緯度・経度）
- c) 時間（UTC）
- d) 最も近い港湾名，その港湾の国籍及びそこからの距離
- e) 3.2.1 c)で指定した海域の名称
- f) IMO番号
- g) 船舶種別
- h) MMSI番号
- i) Call Sign

3.4.3 保全上の措置 任意のリストは、パスワード管理等により他の端末で閲覧することができないようにするとともに、任意のリストデータは官側以外での蓄積・ダウンロードができないようにすること。

4 利用条件 本要求における端末での利用台数は2台とする。

5 利用期間 「調達要領指定書」に定める期間とする。

6 その他指示

6.1 情報の保全 契約の相手方は、本契約の履行にあたり直接又は間接的に知り得た知識を他に漏らしてはならない。また、第三者を従事させる場合は、**情報システムに関する調達に係るサプライチェーン・リスク対応のための措置の細部事項について（通知）**に定める特約条項を適用するものとする。

6.2 立入禁止場所への立入 契約の相手方は、本契約の履行にあたり立入禁止場所への立入が必要な場合には、**情報本部における立入禁止場所等に関する達**に基づき、事

前に官側へ申請を行い許可を得るものとする。

6.3 官側における支援 契約の相手方は、本契約の履行に伴い官側の支援を必要とする場合、事前に官側と調整の上、無償で以下の官側支援を受けることができるものとする。

- a) 現地における電力及び水の使用
- b) その他支出負担行為担当官が必要と認めたこと。

6.4 保守サービス体制 契約の相手方は、何らかの不具合が生じた場合には、速やかに復旧又は保全の措置（翌課業日以内の着手）を採り得る保守サービス体制を確保するものとする。

6.5 操作講習等 契約の相手方は、操作講習（10名×4時間（基準））及び操作マニュアル（日本語版）5部を提供するものとする。細部は官側との調整による。

6.6 船舶識別サービス時期 「調達要領指定書」に定める期間とする。

6.7 仕様書に関する疑義 契約の相手方は、この仕様書の内容に疑義が生じた場合には速やかに支出負担行為担当官と協議するものとする。

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(船舶情報)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|-----------------------|----------------------|
| 1 | Ship Name | 船名 |
| 2 | LR/IMO Ship Number | I M O 番号 |
| 3 | MMSI Number | MMS I 番号 |
| 4 | Flag | 旗国 |
| 5 | Port of Registry | 船籍港 |
| 6 | Call Sign | コールサイン |
| 7 | Ship Type | 船舶種別 |
| 8 | Registration | 登録情報 |
| 9 | Registered Owner | 登録持主 |
| 10 | Commercial Manager | 商業面における管理者 |
| 11 | Technical Manager | 技術面の責任者 |
| 12 | Commercial Operator | 商業面における責任者 |
| 13 | Class | 等級の I D, 現等級及び等級の歴史等 |
| 14 | Surveys | 船舶の検査日時, 検査種別等 |
| 15 | Construction Overview | 船舶種別, 建築日, 総トン数等 |
| 16 | Ship Builder | 製造社, ヤード番号等 |
| 17 | Construction Detail | 船体のタイプ, 材質, 強み等 |
| 18 | Length Overall | 全長 |
| 19 | Length (Reg) | 登録長 |
| 20 | Length (BP) | 垂線間長 |
| 21 | Breath Extreme | 全幅 |
| 22 | Breath Moulded | 型幅 |
| 23 | Draught | 喫水 |
| 24 | Depth | 深さ |
| 25 | Height | 高さ |
| 26 | Displacement | 排水量 |
| 27 | T/CM | 1 c m 当たりのトン数 |

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(船舶情報)(続き)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|-------------------------------|-------------------------------|
| 28 | GT (Gross Tonnage) | 総トン数 |
| 29 | NRT (Net Register Tonnage) | 純トン数 |
| 30 | DWT (Dead Weight Tonnage) | 積載重量トン数 |
| 31 | Status | 稼働状況(廃船、係船、抑留等) |
| 32 | Cargo & Gear Overview | 主要な積載容量 |
| 33 | Compartment | 客室 |
| 34 | Grain Capacity | 散荷容積 |
| 35 | Bale Capacity | 袋物容積 |
| 36 | Liquid Capacity | 液体容積 |
| 37 | Liquid Gas Capacity | 液体ガス容積 |
| 38 | Container | コンテナ数 |
| 39 | Cargo | その他の容量 |
| 40 | Cargo Gear | クレーン、デリック等積荷搭載用機材 |
| 41 | Ro-Ro | 車両搭載船容量 |
| 42 | Towage | 曳船ウィンチ |
| 43 | Machinery Overview | 機材概要、速力 |
| 44 | Prime Mover | 原動機 |
| 45 | Auxiliary Engines | 補助エンジン |
| 46 | Bunkers | バンカー |
| 47 | Thrusters | スラスタ |
| 48 | Inspections | P S C (ポートステートコントロール) に関わるデータ |
| 49 | Safety Management | I A C S 準拠のデータ群 |
| 50 | Photographs | 画像 |
| 51 | Trading Areas | 過去12か月の貿易エリア |
| 52 | Fixture | 傭船歴 |

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(海難事故)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|----------------------|--------------------|
| 53 | Ship Details | 船舶情報 |
| 54 | Incident details | 事故の詳細 |
| 55 | Voyage Details | 航海の詳細 |
| 56 | Event Details | 事故の間に起こった一連の出来事の詳細 |
| 57 | Other Ships Involved | 巻き込まれた船舶の情報 |
| 58 | Casualty Location | 位置情報 |
| 59 | Disposal | 解体費等の処理に関する情報 |

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(造船会社)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|-----------|---------------|
| 60 | Addresses | 会社の連絡先に関する情報 |
| 61 | Orderbook | 注文控え帳にある船舶の情報 |

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(港湾情報)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|--------------------|--|
| 62 | Country | 港の所在国 |
| 63 | Port Name | 港の国際的に認知された名称 |
| 64 | UNLOCODE | 国連の組織であるUNECE（国連欧州経済委員会）が移動、貿易地点に割り当てる番号 |
| 65 | Location | 位置 |
| 66 | Berth & Terminals | バース、ターミナルに関する情報 |
| 67 | Ships in Port | 港に停泊している船舶 |
| 68 | Ships Destined For | 当該港に向かっている船舶 |
| 69 | Weather | 天気 |
| 70 | News | ニュース |

付表1 船舶情報・港湾情報一覧(会社情報)

| 項番 | 英記 | 内容 |
|----|----------------------|----------------|
| 71 | Short Name | 会社の略称 |
| 72 | Full Name | 会社の正式名称 |
| 73 | Addresses | 連絡先 |
| 74 | Fleet Size | 会社の関連する船舶の数 |
| 75 | Operated Fleet | 運営会社となっている船舶一覧 |
| 76 | Register Owned | 登録会社となっている船舶一覧 |
| 77 | DOC Holder For | DOCを持っている船舶一覧 |
| 78 | Fleet List | 関連会社一覧 |
| 79 | Fleet Live Positions | 関連する船舶一覧 |
| 80 | Trading Areas | 関連会社まで含めた貿易範囲 |
| 81 | Fleet List | 関連会社の一覧 |
| 82 | Casualty Data | 事故情報 |

付表2 リスト項目(基準)

| 項番 | 項目名 | 備 考 |
|----|------------|------------|
| 1 | リスト番号 | 官側による任意の番号 |
| 2 | 船名 | |
| 3 | I M O 番号 | |
| 4 | 船舶種別 | |
| 5 | G T | |
| 6 | D W T | |
| 7 | 建造年 | |
| 8 | Call sign | |
| 9 | M M S I 番号 | |
| 10 | 船籍港 | |
| 11 | 国籍 | |
| 12 | 全長 | |
| 13 | 速力 | |

| | | |
|----------------------------------|---------------------------|---------------|
| 調達要領指定書 | 発簡番号 | |
| | 調達要求番号 | 統-08-0122-014 |
| | 調達要求年月日 | 令和8年1月22日 |
| | 作成部課 | 情報本部統合情報部 |
| | 作成年月日 | 令和8年1月22日 |
| 品名 | 船舶識別サービスの利用 | |
| 仕様書番号 | D I H - L T - 1 5 1 0 2 D | |
| 指定事項 | | |
| 5 利用期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日 | | |